

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	問 1	86.7	2	問 1	77.2	3	問 1	69.6
	問 2	82.2		問 2	67.1		問 2	26.6
	問 3	90.5		問 3	92.4		問 3	90.8
	問 4 (1)	46.0		問 4	34.2		問 4	83.6
	問 4 (2)	67.3		問 5	87.8		問 5	78.6
	問 5	91.0		問 6	65.8		問 6	82.9
	問 6	49.5		問 7	95.5		問 7	25.9
	問 7	39.7		問 8	34.4		問 8	64.9
	問 8	93.0		問 9	84.2		問 9	36.0
				問 10	82.7		問 10	67.3

合格者最高点 72
合格者最低点 38

1 地理分野からの出題です。

- 問 1 3つの河川の特徴を把握できているかを問う問題でした。高い得点率でしたが、②と③を逆で判断してしまった解答も見られました。
- 問 2 4つの漁港の特徴を問う問題でした。基本的な学習事項であり、高い得点率でした。
- 問 3 3つの野菜の生産地を問う問題でした。基本的な学習事項であり、高い得点率でした。
- 問 4 (1) 自然災害伝承碑に関する問題でした。地図記号から「自然災害伝承碑」であることを読み取り、地図記号が作成された理由を説明するものでしたが、やや低い得点率となりました。
- (2) 新旧地形図から地域の変化を読み取る正誤問題でした。概ねよくできていました。
- 問 5 基本的な学習事項であり、高い得点率でした。
- 問 6 複数のハザードマップの組み合わせを問う問題でした。河川・山地・海岸線の位置から、それぞれの災害を推測するものでしたが、もう少し高い得点率を期待していました。
- 問 7 四国4県の産業の特徴を問う問題でしたが、もう少し高い得点率を期待していました。
- 問 8 基本的な学習事項であり、高い得点率でした。

2 歴史分野からの出題です。

- 問 1 旧石器時代・弥生時代・古墳時代についての代表的な遺跡を問う問題であり、概ねよくできていました。Bの大森貝塚、Cの三内丸山遺跡はともに縄文時代を代表する遺跡です。Dの吉野ケ里遺跡は弥生時代を代表する遺跡です。
- 問 2 高度経済成長期についての基本的な理解を問う問題であり、概ねよくできていました。Aは国民所得倍增計画、Bは沖縄返還協定、Cは環境基本法、Dは教育基本法の史料であることが読み取れます。
- 問 3 飛鳥時代における出来事の時代整序問題であり、高い得点率でした。①は壬申の乱に関連して、②は大化の改新に関連して、③は冠位十二階に関連して述べたものでした。
- 問 4 資料読解や時代背景を問う正誤問題となっていました。【史料】から、鎌倉時代の百姓たちがXの非道について訴えていることをふまえ、空欄Xに「地頭」が入ることを判断する必要もあり、やや低い得点率となりました。
- 問 5 空欄あ〜うに当てはまる人物名を判断した上での文章正誤問題でした。空欄あには「白河天皇(白川上皇)」、空欄いには「フランシスコ・ザビエル」、空欄うには「織田信長」が入ります。基本的な理解を問う問題であり、高い得点率でした。

- 問6 東アジアにおける貿易品目についての理解を問う問題であり、概ねよくできていました。
- 問7 基本的な学習事項であり、高い得点率でした。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解としました。
- 問8 老中の水野忠邦が行った天保の改革の背景に関する問題であり、株仲間が商品流通を独占している状態と、それによって物価の上昇が起こっていることを答える問題でした。もう少し高い得点率を期待していました。
- 問9 「与謝野晶子」を答える問題でした。基本的な学習事項であり、高い得点率でした。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解としました。
- 問10 地図を活用した問題でしたが、高い得点率でした。1875年に結ばれた樺太・千島交換条約では、千島列島は日本領、樺太島はロシア領と定められました。その後、日露戦争後に結ばれたポーツマス条約では、北緯50度以南の樺太島を日本に譲渡することが決められました。

3 公民分野からの出題です。

- 問1 与えられた資料の読み取り問題でしたが、概ねよくできていました。**B**は、平日の実際の活動時間は、運動部は2～3時間、文化部は1～2時間が最多となっています。**D**は、生徒が好ましいと考える活動時間は、運動部も文化部も、平日の実際の活動時間よりも長い傾向にあるとは読み取れません。
- 問2 やや低い得点率となりました。裁判員裁判は、殺人などの重大な刑事事件の第一審のみが対象になります。
- 問3 基本的な学習事項で、多くの受験生が理解できていました。
- 問4 憲法に関する理解を問う問題でしたが、高い得点率でした。①・②は誤文で、③は正文です。天皇がおこなう国事行為は、内閣の助言と承認によりおこなうことが憲法第7条で規定されています。また、憲法改正案の原案は、国会議員（衆議院100名以上、参議院50名以上）の賛成により発議され、衆参各議員において憲法審議会での審査を経て本会議で審査されます。
- 問5 国際連合に関する理解を問う問題でしたが、高い得点率でした。**A**は、国際連合が設立されたのは1945年10月で、第二次世界大戦の終戦後です。**C**は、安全保障理事会の常任理事国は、アメリカ合衆国、イギリス、フランス、中国、ロシアの5か国で変わらず、任期2年の非常任理事国は、国連総会で選挙により選ばれます。
- 問6 基本的な時事問題で、高い得点率でした。
- 問7 もう少し高い得点率を期待していました。なお、日本語名称は国際労働機関です。
- 問8 **【資料】**の読み取りをもとにした論述問題でしたが、概ねよくできていました。「日本がエチオピアよりジェンダーギャップ指数が大きい分野」とは、ジェンダーギャップ指数がエチオピアより日本の方が小さい「経済」と「政治」の2分野であることが**【資料】**からわかります。
- 問9 ②は正文で、①は誤文になりますが、もう少し高い得点率を期待していました。①について、条約締結に関する国会の承認は事前・事後いずれかでよいことになっています。
- 問10 環境問題について問いましたが、概ねよくできていました。オゾン層の破壊の原因物質はフロンです。